

「権利擁護支援フォーラム in かわさき」報告

2011年12月24日（土）、全国権利擁護支援ネットワークの関東ブロックにて、「障害のある人の自立生活と権利擁護」を副題にフォーラムを開催しました。今年度は特定非営利活動法人かわさき障がい者権利擁護センターの皆様により現地事務局を担当いただきました。会場となった川崎市総合福祉センター（エポック中原）には、県内外から100名を超える多くの方にご参加いただき、底冷えのする寒い中、会場内は参加者の熱気に包まれました。

プログラム第一部は、基調講演「障害のある人の自立生活と権利擁護」と題して、法政大学法科大学院教授の佐藤彰一さんにご登壇いただきました。

講演の中では、権利擁護の実践はすべてにおいて意思決定支援が基本になること、一人で賄おうとすると「思い込み」に陥ることを丁寧にお話しされました。またいくつかの例示等を示されて権利擁護の難しさについても含蓄のあるお話をされました。

第二部は、「誰もが地域で安心して暮らすために」をテーマにパネルディスカッションが行われました。県内で活動されている、三谷智百合さん（NPO法人湘南ふくしネットワークオンブズマン）、田中晃さん（かながわ成年後見推進センター）、泉幸江さん（NPO法人成年後見センターしぐなるあいず理事）、大石剛一郎さん（NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター理事）、井上義男さん（成年後見制度利用者）をパネリストに迎えて、コーディネーターとして明石洋子さん（NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター）にご参加いただきました。各分野における活動内容や地域の状況について紹介いただくとともに、後半には参加者の方からの質問に登壇者が答えるという双方向の形式も取られ、会場の一体感を味わうことができました。



本会終了後、自由参加の懇談会が行われ、予想以上に多くの有志の方にご参加いただきました。こちらでも皆さん活発な発言が多く、美味しいものを食べながら楽しいひと時を過ごすことができました。

最後に、本フォーラムの開催にご協力いただきました後援団体の皆様、登壇者の皆様、そして現地事務局の皆様により厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。